

宇宙航空研究開発機構のはやぶさ2プロジェクトに関するセミナーの開催

3月18日、在ヨルダン日本国大使館は、ヨルダン宇宙協会及びアラブ天文学宇宙科学連合と共同で、宇宙航空研究開発機構（JAXA）のはやぶさ2プロジェクトに関するセミナーを実施しました。はやぶさ2プロジェクトは、小惑星リュウグウからサンプルを持ち帰った無人宇宙探査ミッションです。2014年12月3日に打ち上げられた小惑星探査機はやぶさ2により小惑星リュウグウから持ち帰られたサンプルは、はやぶさ2から放出された後、2020年12月6日に地球にたどり着きました。

本セミナーはJAXAの吉川真宇宙科学研究所（ISAS）准教授、「はやぶさ2」ミッションマネージャーを招いて開催されました。吉川ミッションマネージャーは太陽系小天体の軌道解析を専門とする世界を代表する天文学者で、「ネイチャーズ10：2018年を代表する10人」にノミネートされました。

160人以上が参加した本セミナーにおいては、冒頭ハサーウネ・ヨルダン宇宙協会会長及び嶋崎駐ヨルダン大使が挨拶を述べました。その後、吉川はやぶさ2ミッションマネージャーによる、はやぶさ2プロジェクトの概要、それに活用された先端技術、JAXAのミッションの今後の展望に関する講演が行われました。ヨルダン宇宙協会側からは、サバト博士及びサカジ博士が小惑星の軌道ダイナミクスに関する講演が行われ、続いてハラビ氏により2021年の宇宙ミッションの概要に関する講演が行われました。嶋崎大使は、日本人とヨルダン人双方の専門家が参加した貴重な機会であるとしつつ、本セミナーが二国間の更なる学術交流発展のきっかけとなることへの期待を表明しました。



小惑星リュウグウの形について説明する吉川ミッションマネージャー



嶋崎大使及びハサーウネ・ヨルダン宇宙協会会長